

武火発 第 7 5 号

火薬類事故防止計画書

2 0 0 1 年 5 月 3 1 日

日本油脂株式会社 愛知事業所 武豊工場

【梶田注：原文を写したもので、公印を省略】

火 薬 類 事 故 防 止 計 画 書

日本油脂株式会社 愛知事業所 武豊工場

1. 目的

この計画書は、武豊町、半田市、常滑市、美浜町の各市町と日本油脂株式会社との間で締結された火薬類災害防止協定書に基づいて、火薬類による事故を防止するために、日本油脂株式会社 愛知事業所 武豊工場（以下「当工場」という。）が実施する火薬類関係施設の維持管理等、必要な措置を定めるとともにその記録及び報告に関する手順を定めることを目的とする。

2. 実施し報告する必要な措置

当工場が実施し記録し、報告する必要な措置は、定期自主検査及び安定度試験とする。

3. 定期自主検査

3. 1 定期自主検査の実施

中部経済産業局長又は愛知県知事に届け出た定期自主検査計画書に基づいて、以下により定期自主検査を実施する。

- (1) 定期的に年2回、原則として毎年6月と12月に実施する。
- (2) 定期自主検査は、製造保安責任者又は取扱保安責任者が指示して実施する。
- (3) 定期自主検査を実施する火薬類関係施設は、危険工室、火薬類一時置場、爆発・燃焼・発射試験場、廃薬焼却場及び火薬庫とする。
- (4) 定期自主検査は、火薬庫を除く施設（危険工室等）については別紙1に、火薬庫については別紙2に定める点検項目について実施する。
- (5) 定期自主検査に併せて、保安距離に影響を及ぼすような新規保安物件の有無を確認する。

3. 2 定期自主検査の測定・監視

定期自主検査実施日、定期自主検査の結果及びこれに伴う措置の内容、定期自主検査を実施した者の氏名を記録し、保存する。

3. 3 定期自主検査実施の報告

年2回定期自主検査を実施した翌月に、火薬類施設安全対策連絡協議会に対して

以下について報告する。

- (1) 定期自主検査を実施した施設、定期自主検査指揮者氏名、定期自主検査結果及び定期自主検査実施年月日
- (2) 措置を講じた場合の措置の内容

4. 安定度試験

4. 1 安定度試験の実施

火薬類取締法に基づいて、安定度試験を実施する。

4. 2 安定度試験の測定・監視

安定度試験した火薬類の品名、ロット、製造年月日、安定度試験実施日、安定度試験の結果及びその結果に伴う措置の内容を3ヶ月ごとにまとめて記録し、保存する。

4. 3 安定度試験実施の報告

年2回前記の定期自主検査の報告と併せて、火薬類施設安全対策連絡協議会に対して以下について報告する。

- (1) 安定度試験した火薬類の種類、数量、安定度試験結果及び安定度試験実施期間
- (2) 措置を講じた場合の措置の内容

5. 適用日

この計画書は、平成13年6月1日から適用する。

別紙 1 定期自主検査点検項目（危険工室等）

検 査 項 目	検 査 項 目
危 険 区 域	境界さく、警戒札は良いか
窓 及 び 出 入 口	鉄と摩擦する部分は銅、真鍮等となっているか。
工 室 の 内 面	土砂のはく落、飛散はないか 床張りは完全か
機 械 、 器 具	摩擦部の給油、動揺、脱落、腐蝕はないか 粉末の付着、侵入はないか
暖 房 装 置	可燃物との隔離 粉末、塵埃の防止装置は良いか
照 明 装 置	電気設備基準による電灯か 工室内配線は金属管を使用しているか
機 械 設 備 乾 燥 装 置	金属部は接地してあるか
掲 示 板 作 業 心 得	見易い場所に明記してあるか
天 井 及 び 内 壁	火薬の飛散する工室では隙間はないか 目張りは良いか
火 薬 類 の 粉 塵	飛散防止装置は良いか
温 度 測 定 装 置	温度計に異常はないか
加 圧 安 全 装 置	作動は良いか 安全ピン等の材質、員数は良いか
静 電 気 除 去 装 置	加湿設備の作動は良いか アースは完全か
可 燃 性 ガ ス 有 毒 ガ ス	排気装置はあるか、異常はないか
爆 発 、 燃 焼 、 発 射 試 験 場 、 廃 薬 焼 却 場	周囲の除草、伐採はしてあるか
運 搬 容 器	規定以外のものはないか 蓋は確実にできるか
運 搬 車 運 搬 通 路	整備は良いか 軌道、路面の傷みはないか

警 鳴 装 置	確実に作動するか（テストボタン、扉の開閉） 音量は良いか
消 火 装 置	貯水槽等の位置、数量は良いか 消火設備の作動は良いか
避 雷 装 置	告示第 2 2 8 号参照（接地抵抗 1 0 オーム以下）
火 薬 類 一 時 置 場	すべての窓に遮光カーテンが設置されているか
無 煙 火 薬 を 存 置 す る 火 薬 類 一 時 置 場	自記記録式温湿度計に異常はないか スプリンクラー設備の作動は良いか 温湿度調整装置の作動は良いか

別紙2 定期自主検査点検項目（火薬庫）

検 査 項 目	検 査 内 容
位 置	湿地でないか
構 造	基準は維持され、排水は良いか
壁	構造、厚さの基準は維持されているか
入 口 の 二 重 扉	耐火扉の構造、厚さ等の基準は維持されているか
盗 難 防 止 措 置	内扉と外扉に取付けた錠は基準に適合するか
窓	鉄棒、引き戸の不透明ガラス、防火扉に異常はないか
床 下 の 通 気 孔	金網張り、鉄棒に腐食等の異常はないか
内 面	板張り、床面に鉄類は表れていないか
天 井 ・ 両 妻 の 換 気 孔	金網張りに腐食等の異常はないか
屋 根	不燃性構造は盗難及び火災を防止できるか
避 雷 装 置	別紙点検表のとおり
土 堤	こう配、高さ、厚さ等の基準は維持されているか
防 火 用 空 地	境界沿いに巾2 m以上確保されているか
防 火 設 備	貯水槽等の位置、数量は良いか
警 戒 設 備	境界柵の構造、警戒札の位置は良いか
警 鳴 装 置	別紙点検表のとおり
天 井 裏	盗難防止の金網張りに異常はないか
庫 内 照 明 装 置	防爆式電灯、配線等に異常はないか